

令和元年度 小動物獣医学会（北海道）

地区学会長：滝口 満喜（北海道大学）

第1日（8月29日）会場（A107講義室）

9：00～9：20

座長：掛端 健士（かけはた動物病院）

小-1 特発性眼窩膿瘍による視覚障害がみられた猫の1例

○益子亜里沙¹⁾ 加藤礼子²⁾ 林 美里²⁾ 下出亜里咲³⁾ 前原誠也^{1,2,3)}

(¹⁾酪農大院獣医学 ²⁾酪農大伴侶動物医療学 ³⁾酪農大附属動物医療センター)

小-2 犬の毛様体腺腫および腺癌の回顧的検討

○下出亜里咲¹⁾ 益子亜里沙²⁾ 林 美里³⁾ 加藤礼子³⁾ 前原誠也^{1,2,3)}

(¹⁾酪農大動物医療センター ²⁾酪農大院獣医学 ³⁾酪農大伴侶動物医療学)

9：20～9：50

座長：大橋 英二（あかしや動物病院）

小-3 エキノコックス症流行地域における飼い犬の感染状況とその対策の重要性

○山田恭嗣¹⁾ 八木欣平²⁾ 入江隆夫²⁾ 孝口裕一²⁾ 浦口宏二²⁾ 森嶋康之³⁾

(¹⁾やまだ動物病院 ²⁾道衛研 ³⁾国立感染症研)

小-4 北大附属動物病院における薬剤耐性モニタリング調査結果2018

○笹岡一慶 森下啓太郎 細谷謙次 滝口満喜

(北大附属動物病院（感染症対策ワーキンググループ）)

小-5 重度急性胃拡張を認めたウサギの回顧的調査

○亀山健吾 遠藤雄介 氏家葉月 川瀬広大

(札幌夜間動物病院)

9：50～10：10

座長：大菅 辰幸（北大）

小-6 猫の鼻腔からスエヒロタケ (*Schizophyllum commune*) が検出された1症例

○松井李穂¹⁾ 大橋英二¹⁾ 豊留孝仁²⁾ 松本高太郎²⁾ (¹⁾あかしや動物病院 ²⁾帯畜大臨床獣医学)

小-7 治療に苦慮した低ナトリウム血症の犬の1例

○今井雄大¹⁾ 山崎 剛²⁾ 足立真実¹⁾ 富田彬正¹⁾ 玉本隆司¹⁾

(¹⁾酪農大伴侶動物医療学 ²⁾大麻3番通り動物病院)

10：20～10：50

座長：玉本 隆司（酪農大）

小-8 詳細な病理学的解析に基づいて治療方針を決定した免疫複合体性糸球体腎炎の犬の1例

新井田 篤¹⁾ 大田 寛²⁾ 笹岡一慶¹⁾ 細谷謙次¹⁾ 市居 修³⁾ 賀川由美子⁴⁾ 大菅辰幸¹⁾

佐々木 東²⁾ 森下啓太郎¹⁾ 滝口満喜²⁾

(¹⁾北大附属動物病院 ²⁾北大獣医内科学 ³⁾北大獣医解剖学 ⁴⁾ノースラボ)

小-9 重度の腹腔内出血を呈した胆管肝炎の猫の1症例

○熊川実旺¹⁾ 田川道人¹⁾ 柳川将志²⁾ 轉馬 創³⁾ 渡邊謙一³⁾ 古林与志安³⁾ 宮原和郎¹⁾

(¹⁾帯畜大動物医療センター ²⁾帯畜大臨床獣医学 ³⁾帯畜大基礎獣医学)

小-10 過去3年間の輸血後副反応に関する回顧的研究

○細田千尋¹⁾ 森下啓太郎¹⁾ 山崎淳平¹⁾ 高田健介²⁾ 細谷謙次¹⁾ 金 尚昊³⁾ 佐々木 東⁴⁾

大田 寛⁴⁾ 滝口満喜⁴⁾

(¹⁾北大附属動物病院 ²⁾北大動物分子医学 ³⁾北大獣医外科学 ⁴⁾北大獣医内科学)

10:50~11:10

座長：森下啓太郎（北大）

小-11 脾臓の血腫および結節性過形成に関連しMAHAを呈した犬の1症例

○畝 奈緒美¹⁾ 田川道人¹⁾ 柳川将志²⁾ 千葉汐莉³⁾ 渡邊謙一³⁾ 堀内雅之³⁾ 古林与志安³⁾
宮原和郎¹⁾ (1)帯畜大動物医療センター (2)帯畜大臨床獣医学 (3)帯畜大基礎獣医学)

小-12 FeLV陰性であった急性単球性白血病の猫の2症例

○田川道人¹⁾ 新坊弦也^{1,2)} 渡邊謙一³⁾ 堀内雅之³⁾ 古林与志安²⁾ 宮原和郎¹⁾
(1)帯畜大動物医療センター (2)北大附属動物病院 (3)帯畜大基礎獣医学)

11:10~11:40

座長：足立 真実（酪農大）

小-13 犬のIdiopathic Eosinophilic Gastrointestinal Massの1例

○大橋英二¹⁾ 松井李穂¹⁾ 渡邊謙一²⁾ 堀内雅之²⁾ 古林与志安²⁾
(1)あかしや動物病院 (2)帯畜大臨床獣医学)

小-14 猫のサルコイドの1症例

○犬飼久生¹⁾ 磯村 洋²⁾ (1)猫の病院 (2)パソロジカルアシスト)

小-15 先天性包茎と診断された猫の3例

○岸 文也¹⁾ 細谷謙次¹⁾ 金 尚昊²⁾ 竹内恭介¹⁾ 奥村正裕²⁾
(1)北大附属動物病院 (2)北大獣医外科学)

第2日（8月30日）会場（A107講義室）

9:00~9:30

座長：松本高太郎（帯畜大）

小-16 硬化性被嚢性腹膜炎が疑われた猫の2症例

○足立真実¹⁾ 植田真康²⁾ 小池大輔³⁾ 廉澤 剛¹⁾ 堀 あい⁴⁾ 伊東理実⁵⁾ 富田彬正¹⁾
玉本隆司¹⁾
(1)酪農大伴侶動物医療学 (2)みどり台ペットクリニック (3)こいけペットクリニック
(4)酪農大附属動物医療センター (5)酪農大生体機能学)

小-17 経皮的ドレナージで良好に経過した胃排出障害を伴う臍仮性嚢胞の犬の1例

○坂本暁彦¹⁾ 大田 寛¹⁾ 杉浦 岳²⁾ 康井翔平³⁾ 大菅辰幸³⁾ 佐々木 東¹⁾ 森下啓太郎³⁾
滝口満喜¹⁾ (1)北大獣医内科学 (2)すぎうらペットクリニック (3)北大附属動物病院)

小-18 肝炎症候群を疑い血漿アミノ酸解析を行った肝硬変の犬の1例

○上條太貴¹⁾ 大田 寛²⁾ 賀川由美子³⁾ 大菅辰幸¹⁾ 佐々木 東²⁾ 森下啓太郎¹⁾ 滝口満喜²⁾
(1)北大動物病院 (2)北大獣医内科学 (3)ノースラボ)

9:30~10:00

座長：笹岡 一慶（北大）

小-19 痙攣発作を発症したボストン・テリアで認められた頭蓋内血腫の1例

○北原 常¹⁾ 三好健二郎¹⁾ 堀 あい²⁾ 華園 究³⁾ 中出哲也¹⁾
(1)酪農大伴侶動物医療学 (2)酪農大附属動物医療センター (3)酪農大生体機能学分野)

小-20 てんかん様の痙攣発作を呈し、大脳と心臓に腫瘍塞栓がみられた犬の1例

○佐藤陽輔¹⁾ 大橋英二²⁾ 渡邊謙一¹⁾ 松井李穂²⁾ 堀内雅之¹⁾ 古林与志安¹⁾
(1)帯畜大基礎獣医学 (2)あかしや動物病院)

小-21 DOCPで良好に管理可能であった糖尿病とアジソン病を併発した犬の1症例

古川 翔¹⁾ 中川夏子¹⁾ 松田 彬²⁾ 高良広之¹⁾ (1)アース動物病院 (2)岡山理科大医獣連携獣医)

10:00~10:30

座長：田川 道人 (帯畜大)

小-22 免疫チェックポイント分子Programmed death-ligand 1 (PD-L1) を標的とする抗体薬による免疫療法が奏功した肺転移のある口腔内悪性黒色腫の犬の1例

○竹内寛人¹⁾ 前川直也²⁾ 今内 覚^{1,2)} 高木 哲³⁾ 細谷謙次³⁾ 賀川由美子⁴⁾ 岡川朋弘²⁾
鈴木定彦^{2,5)} 山本啓一^{2,6)} 村田史郎^{1,2)} 大橋和彦^{1,2)}

(¹⁾北大獣医感染症学 (²⁾北大獣医先端創薬 (³⁾北大附属動物病院 (⁴⁾ノースラボ

(⁵⁾北大人獣共通感染症リサーチセンター (⁶⁾扶桑薬品工業株式会社)

小-23 赤血球増加症を呈した腎リンパ腫の犬の1例

○早川みずき¹⁾ 足立真実¹⁾ 棚田敦司²⁾ 富田彬正¹⁾ 玉本隆司¹⁾

(¹⁾酪農大伴侶動物医療学 (²⁾ぱんだ動物病院)

小-24 ホモトキシコロジーで治療した犬の口唇の上皮向性皮膚型リンパ腫の1例

○大池三千男¹⁾ 中群翔太郎²⁾ 渡邊謙一²⁾ 古林与志安²⁾

(¹⁾おおいけ動物病院 (²⁾帯畜大基礎獣医学)

10:40~11:10

座長：華園 究 (酪農大)

小-25 下垂体性副腎皮質機能亢進症に対して定位放射線治療を実施した犬の3例

○今井健友¹⁾ 出口辰弥²⁾ 細谷謙次^{1,2)} 森下啓太郎^{1,2)} 金 尚昊³⁾ 佐々木 東⁴⁾ 大菅辰幸⁴⁾
奥村正裕³⁾

(¹⁾北大獣医先端獣医療学 (²⁾北大附属動物病院 (³⁾北大獣医外科学 (⁴⁾北大獣医内科学)

小-26 C2頸髄背側に発生した犬の神経鞘腫における外科的摘出法の検討

○柄本浩一¹⁾ 松野正行¹⁾ 富永牧子¹⁾ 立石耕右¹⁾ 中尾幸恵¹⁾ 稗田寛子¹⁾ 小島一輝^{1,2)}
佐藤敬近^{1,3)} (えのもと動物病院 (²⁾北大獣医内科学 (³⁾北大獣医外科学)

小-27 犬の胸腰部椎間板ヘルニアに合併した脊髄損傷におけるMRI検査所見の経時的変化とその予後に
関する検討

○深山菜月¹⁾ 越後良介²⁾ 新坊弦也²⁾ 細谷謙次¹⁾ 奥村正裕³⁾

(¹⁾北大獣医先端獣医療学 (²⁾北大附属動物病院 (³⁾北大獣医外科学)

11:10~11:50

座長：酒井 俊和 (酪農大)

小-28 膀胱、前立腺、陰茎切除を行った犬の移行上皮癌の1症例

○新田野乃 松崎 勉

(紋別家畜診療センター)

小-29 盲腸に肥満細胞腫が認められた犬の1例

○信時優子¹⁾ 富張瑞樹¹⁾ 松本高太郎¹⁾ 上嶋沙綾¹⁾ 柳川将志¹⁾ 千葉汐莉²⁾ 渡邊謙一²⁾
堀内雅也²⁾ 古林与志安²⁾ 福田真也³⁾ 大石明広¹⁾

(¹⁾帯畜大臨床獣医学 (²⁾帯畜大基礎獣医学 (³⁾ユニ動物病院)

小-30 半導体レーザー焼灼により治療を試みた黄色腫の猫1例

○山口 亮¹⁾ 金 尚昊²⁾ 桜井雄平¹⁾ 細谷謙次¹⁾ 須永隆文²⁾ 奥村正裕²⁾

(¹⁾北大附属動物病院 (²⁾北大獣医外科学)

小-31 犬の尿管線維乳頭腫の1例

○前田晴香¹⁾ 金 尚昊²⁾ 大田 寛³⁾ 細谷謙次¹⁾ 奥村正裕²⁾

(¹⁾北大附属動物病院 (²⁾北大獣医外科学 (³⁾北大獣医内科学)

13: 10~13: 40

座長：富張 瑞樹 (帯畜大)

小-32 後肢を温存し寛骨臼を含めた部分半側骨盤切除術を行った骨盤骨肉腫の犬の1例

○酒井俊和^{1,2)} 西村麻紀³⁾ 賀川由美子³⁾ 廉澤 剛^{1,2)}

(1)酪農大伴侶動物医療学 (2)酪農大附属動物医療センター (3)ノースラボ)

小-33 犬の膀胱移行上皮癌に対して膀胱全摘出後に尿管を尿道/包皮/陰/腹壁に吻合した30症例

(1998~2018年)

○廉澤 剛^{1,2)} 丹羽昭博¹⁾ 谷川慶一¹⁾ 酒井俊和¹⁾ 細谷謙次²⁾ 高木 哲^{2,3)} 浅野和之^{2,4)}藤永 徹²⁾

(1)酪農大伴侶動物医療学 (2)北大獣医外科学 (3)現 麻布大 (4)現 日本大)

小-34 犬の先天性肝外門脈体循環シャントの術後合併症率と危険因子に関する回顧的研究

○鈴木理紗¹⁾ 細谷謙次^{1,2)} 金 尚昊³⁾ 森下啓太郎^{1,2)} 大田 寛⁴⁾ 滝口満喜⁴⁾ 奥村正裕³⁾

(1)北大獣医先端獣医療学 (2)北大附属動物病院 (3)北大獣医外科学 (4)北大獣医内科学)

13: 40~14: 10

座長：高良 広之 (アース動物病院)

小-35 両側横隔神経麻痺による呼吸不全に対し、横隔膜縫縮術/メッシュ縫着術を実施した犬の1例

○松本 創¹⁾ 細谷謙次¹⁾ 櫻井雄平¹⁾ 金 尚昊²⁾ 石塚友人¹⁾ 寺澤元子³⁾ 奥村正裕²⁾

(1)北大附属動物病院 (2)北大獣医外科学 (3)北野動物病院)

小-36 Tetra-EDTAを用いてSUBの閉塞解除を試みた猫の1例

○竹内恭介¹⁾ 金 尚昊²⁾ 細谷謙次²⁾ 奥村正裕²⁾

(1)北大附属動物病院 (2)北大獣医外科学)

小-37 犬の盲腸内結石の1症例

○上瀧沙綾¹⁾ 富張瑞樹¹⁾ 柳川将志¹⁾ 信時優子¹⁾ 佐藤陽輔²⁾ 渡邊謙一²⁾ 堀内雅之²⁾古林与志安²⁾ 島田 光³⁾ 大石明広¹⁾

(1)帯畜大臨床獣医学 (2)帯畜大基礎獣医学 (3)ひかるペットクリニック)

14: 20~14: 40

座長：福井 翔 (江別白樺通りアニマルクリニック)

小-38 脛骨高平部水平化骨切り術後骨髄炎を治療した犬3例

○佐々木慎弥¹⁾ 越後良介¹⁾ 奥村正裕²⁾

(1)北大附属動物病院 (2)北大獣医外科学)

小-39 足根関節の過屈曲を呈した犬の1例

○桜井雄平¹⁾ 越後良介¹⁾ 新坊弦也¹⁾ 石塚友人¹⁾ 奥村正裕²⁾

(1)北大附属動物病院 (2)北大獣医外科学)

14: 40~15: 10

座長：新坊 弦也 (北大)

小-40 全身性エリテマトーデスを疑う犬1症例におけるMRI所見と病態との関連性

○名川晃太¹⁾ 堀 あい²⁾ 足立真実¹⁾ 華園 究³⁾ 三好健二郎¹⁾ 中出哲也¹⁾

(1)酪農大伴侶動物医療学 (2)酪農大附属動物医療センター (3)酪農大生体機能学分野)

小-41 酪農学園大学医療センターにおけるAutopsy imagingの報告

○石黒久嗣¹⁾ 堀 あい²⁾ 華園 究³⁾ 松田一哉⁴⁾ 三好健二郎¹⁾ 中出哲也¹⁾

(1)酪農大伴侶動物医療学 (2)酪農大附属動物医療センター (3)酪農大生体機能学

(4)酪農大感染・病理学)

小-42 犬の頭蓋内疾患症例に対するPC-MRI法を用いた脳脊髄液動態評価

○堀 あい¹⁾ 三好健二郎²⁾ 華園 究³⁾ 上野博史²⁾ 中出哲也²⁾

(1)酪農大附属動物医療センター (2)酪農大伴侶動物医療学 (3)酪農大生体機能学)

15 : 10 ~ 15 : 30

座長 : 石塚 友人 (北大)

小-43 犬猫におけるメデトミジン - ブトルファノール-アルファキサロンの混合筋肉内投与を用いた
麻酔導入法の臨床的検討

○加藤桂子¹⁾ 大山紀彦²⁾ 伊丹貴晴²⁾ 佐野忠士³⁾ 山下和人²⁾

(¹⁾酪農大附属動物医療センター (²⁾酪農大伴侶動物医療学 (³⁾酪農大獣医保健看護学)

小-44 心原性肺水腫の犬において心エコー図検査を用いたBラインの評価法の検討

○藤本英一郎¹⁾ 榊原啓一郎²⁾ 山下洋平³⁾ 佐野忠士¹⁾ 堀 あい¹⁾ 堀 泰智¹⁾

(¹⁾酪農大附属動物医療センター (²⁾エビス動物病院 (³⁾ノースアニマルクリニック)